

東燃ゼネラル石油株式会社

2005年1-9月/7-9月期業績および年間予想

2005年11月15日



Tonen General

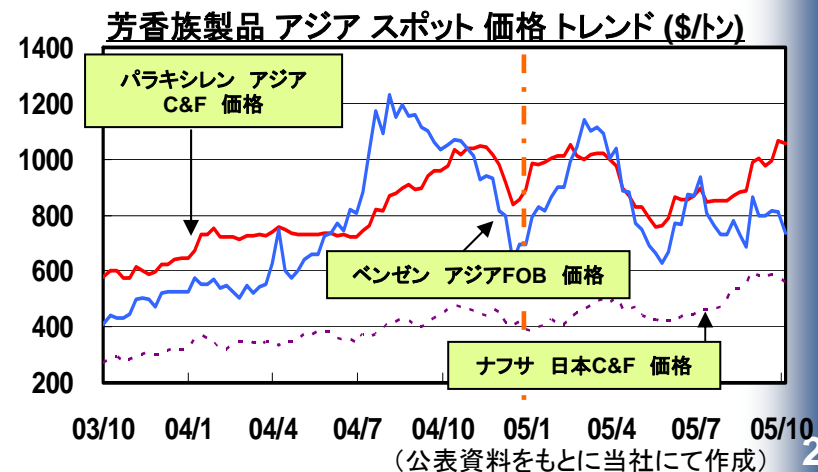
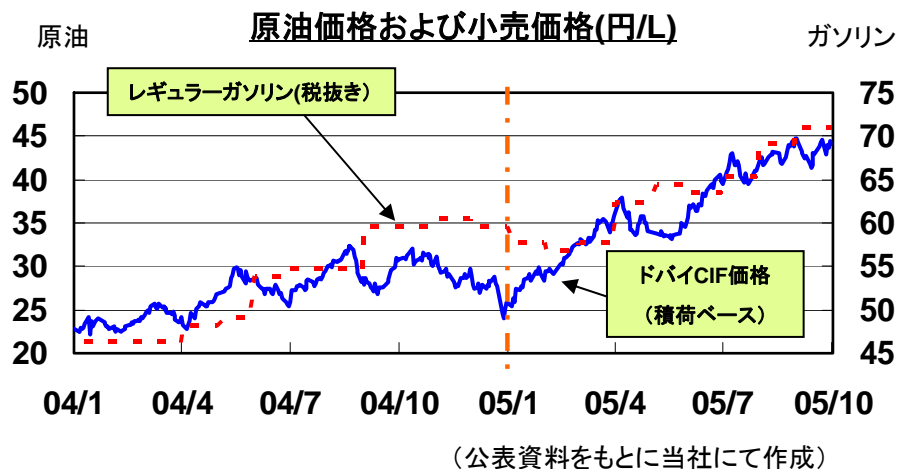
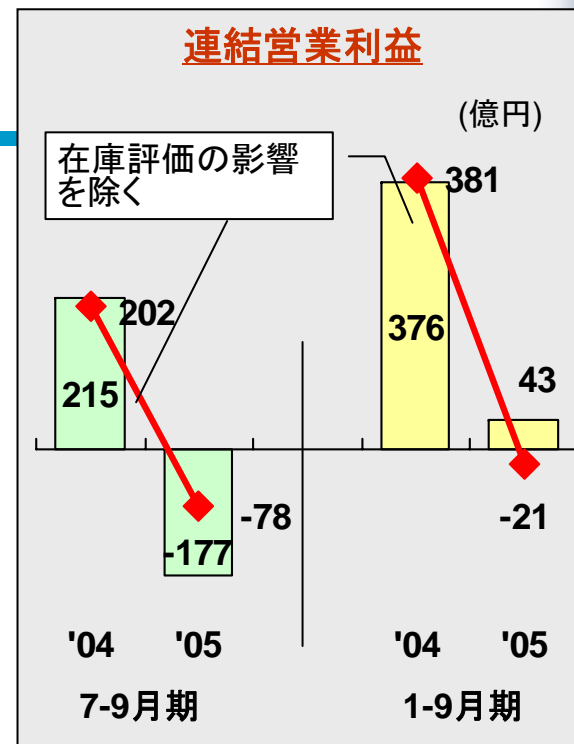
見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通し、戦略などは、日本経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、市場の競争状況などにより大きく影響されます。そのため、実際の業績はこれら見通しとは大きく異なる可能性がありますので、これらの計画、見通しに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

業績ハイライト

- 事業戦略の進捗および事業活動は順調に推移
 - » 長期的な視野に基づく戦略展開
 - » 成長と効率性の向上のための厳選された設備投資
 - » 製造・販売、ならびに経費節減を含む、すべての事業活動は当初の計画通り、またはそれを上回る成果

- 2005年1-9月期の営業利益は去年同期比で減少
 - » 石油化学製品マージン・利益は好調を持続
 - 芳香族製品マージンは7-9月期に一時的な落ち込みが見られたが、活発な需要に支えられ、1-9月期ではすべての生產品目において好業績
 - » 原油価格急騰の影響により石油製品のマージンは減少
 - 原油調達コストを積荷時点で認識するため、業界他社より1ヶ月早く認識
 - » 在庫評価は増益要因



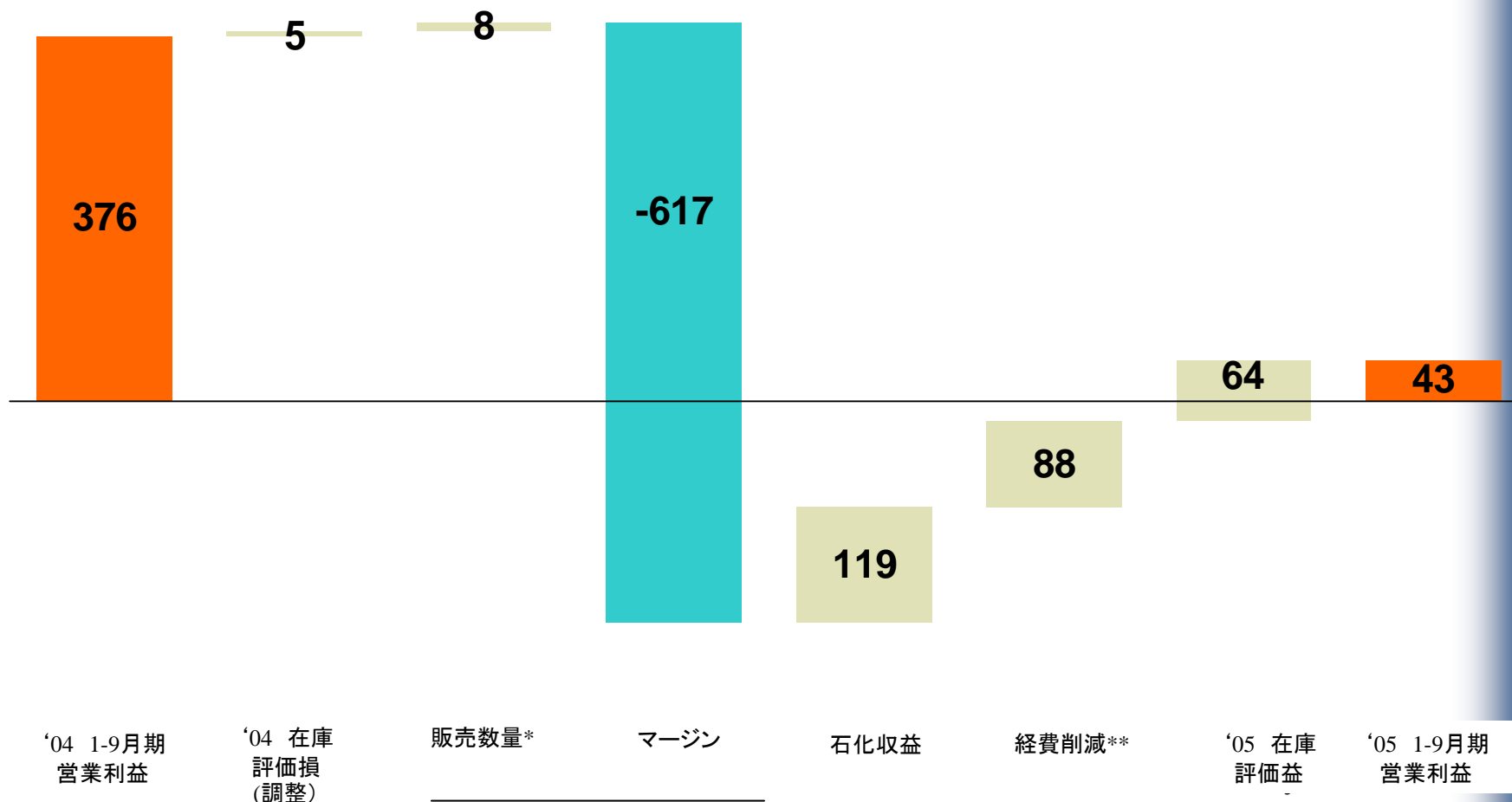
損益計算書 [1-9月期、連結]

(億円)	'04 1-9月期	'05 1-9月期	増減
売上高	17,030	20,747	3,718
営業利益	376	43	-333
経常利益	411	71	-340
特別損益	24	11	-14
当期純利益	267	59	-208
在庫評価の調整	+4	-64	-68
調整後営業利益	381	-21	-402
石油部門 他	116	-389	-504
石油化学部門	265	367	102

営業利益の要因分析

[1-9月期業績の比較、2005年 vs. 2004年; 連結]

(億円)



石油製品

* 主要製品を基準とする(7ページ参照)

** 会計処理変更による影響を除く

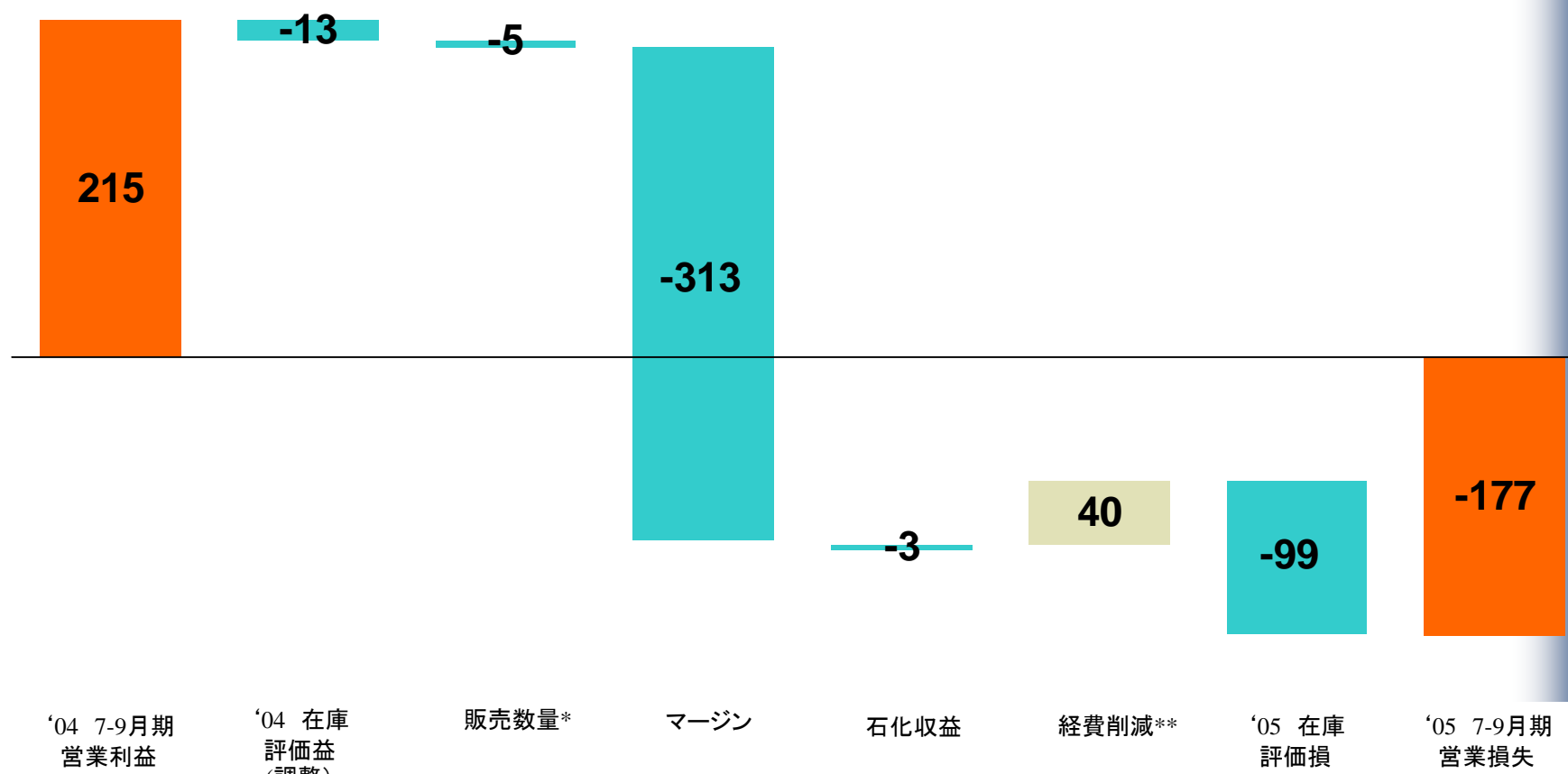
損益計算書 [7-9月期、連結]

(億円)	'04 7-9月期	'05 7-9月期	増減
売上高	6,256	7,498	1,242
営業利益	215	-177	-393
経常利益	234	-168	-402
特別損益	0	12	12
当期純利益	143	-89	-232
在庫評価の調整	-13	+99	+112
調整後営業利益	202	-78	-280
石油部門 他	94	-184	-279
石油化学部門	108	106	-2

営業利益の要因分析

[7-9月期業績の比較、2005年 vs. 2004年; 連結]

(億円)



石油製品

* 主要製品を基準とする(7ページ参照)

** 会計処理変更による影響を除く

販売数量/稼働率

- 厳冬により大幅に伸びた灯油に加え、前年の定期修理の影響が無くなった為、多くの製品で前年同期を上回る販売数量
- 前年同期実績を上回る設備稼働率

石油製品 (連結、バーターを除く)

(千KL)		'04 1-9月期	'05 1-9月期	増減	業界増減
製品	ガソリン	8,908	9,211	3.4%	+0.8%
	灯油	2,793	3,369	20.6%	+4.3%
	軽油	3,518	3,773	7.2%	-1.2%
	A重油	3,210	3,055	-4.8%	-1.7%
	C重油	2,656	2,337	-12.0%	-3.8%
	LPGその他	2,515	2,628	4.5%	N/A
部門別	販売部門(ゼネラルブランド向)	6,357	6,492	2.1%	
	精製部門(エッソ/モービル/キグナス向)	17,224	17,879	3.7%	
	小計	23,601	24,371	3.3%	-0.2%
	その他*	5,626	5,800	3.1%	その他*: 潤滑油、原油、輸出、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む
	総計	29,227	30,171	3.2%	

化学製品 (連結)

(千トン)	オレフィン類他(東燃化学分)	1,263	1,382	9.4%
	芳香族(東燃ゼネラル石油分)	574	612	6.6%
	化学製品合計	1,837	1,994	8.5%

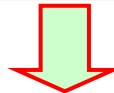
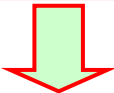
設備稼働率(単体/連結)

82%/79% 87%/82%

86%

原油価格を1ヶ月早く認識すること、および在庫評価の影響

原油価格は'05年1-9月期中にドバイ原油で約25ドル/バレルの急騰



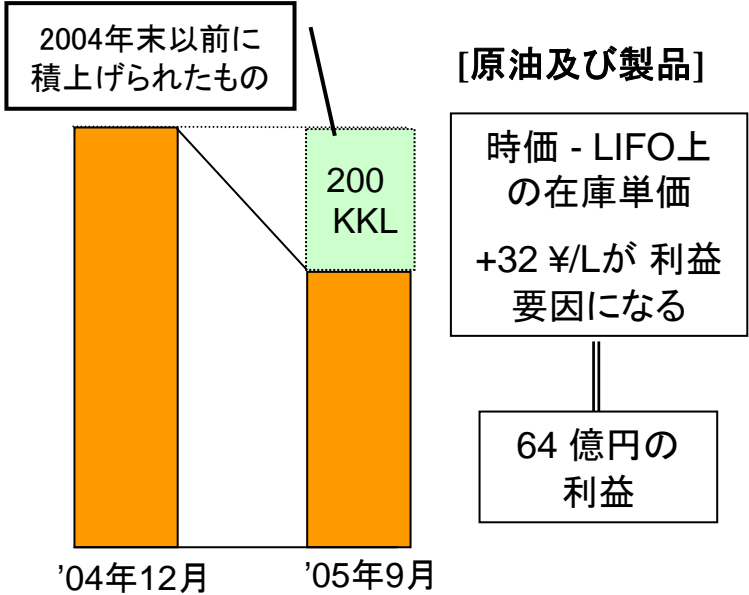
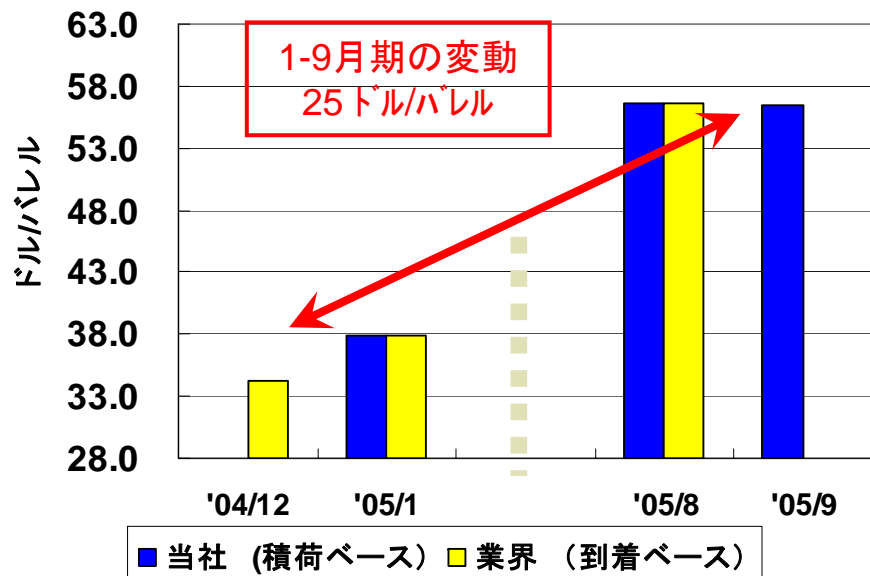
原油価格を1ヶ月早く認識することによる影響

当社は原油調達コストを積荷時点で認識するため、原油価格の変動を業界他社よりも約1ヶ月早く認識する

原油価格を1ヶ月早く認識することの影響はドバイ原油ベースでおよそ490億円と試算される

在庫取崩しによる利益

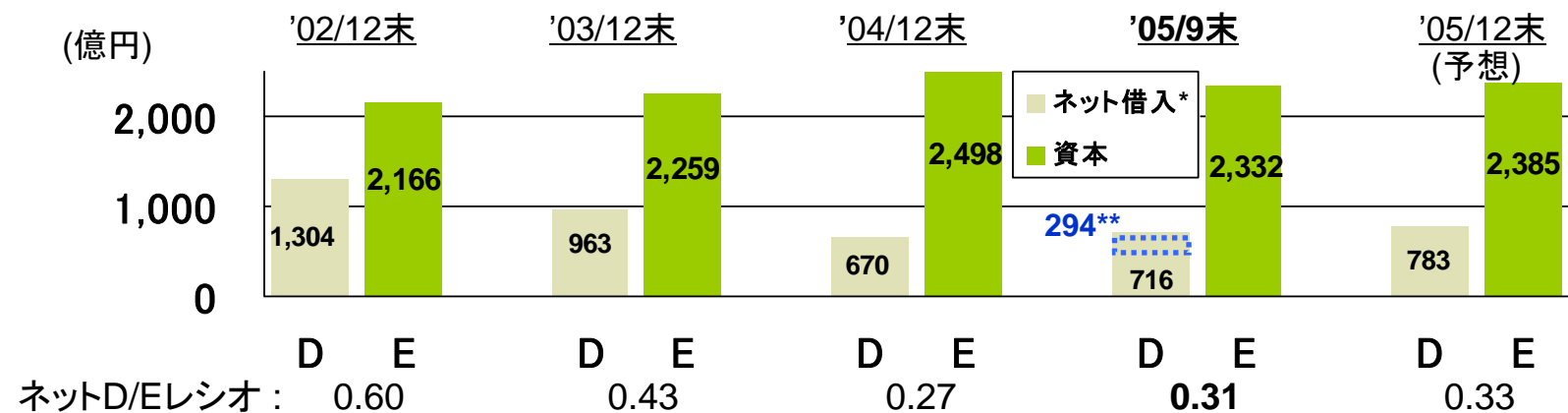
営業利益には64億円のLIFO(後入れ先出法)による原油・製品在庫取り崩しによる利益が含まれる



キャッシュ・フロー、借入、資本 [連結]

(億円)

	'05 1-9月期	揮発油税 調整後	
営業活動／投資活動	164	458	<p>■ 健全な財務状態を維持</p> <p>9月末が平日だったため、1-9月期において揮発油税を1ヶ月分多く支払った結果、ネット買掛金(買掛金+未払揮発油税-売掛金)が294億円減少し、借入金が同額分増加</p>
税引前当期利益	82		
設備投資額／減価償却費	49		
資産売却	45		
たな卸資産	10		
売掛金/買掛金/未払揮発油税等	397	691	
法人税支払い	-366		
その他	-53		
財務活動	-163	-252	
借入金の増(減)	42		
配当金の支払額	-206		
現預金の増減	1		



*現預金・貸付金等の影響を除いた借入金 ** 1ヵ月分の揮発油税の影響

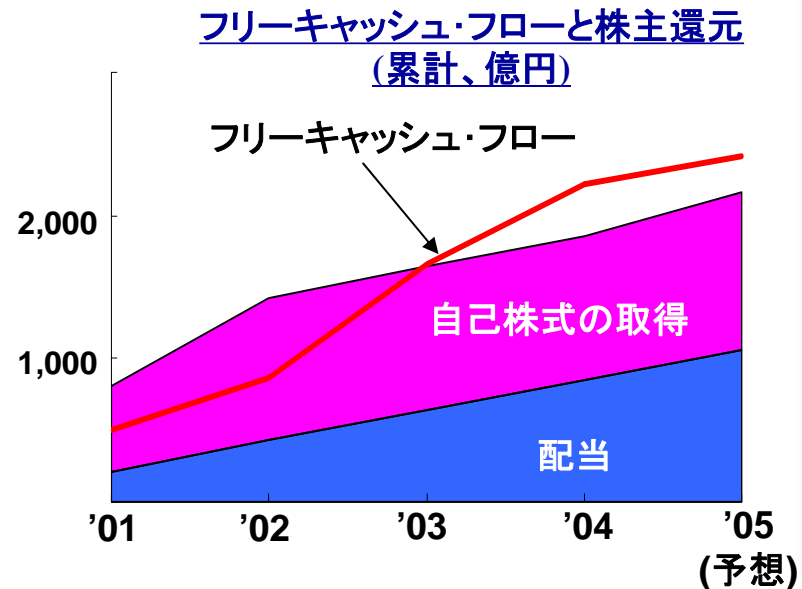
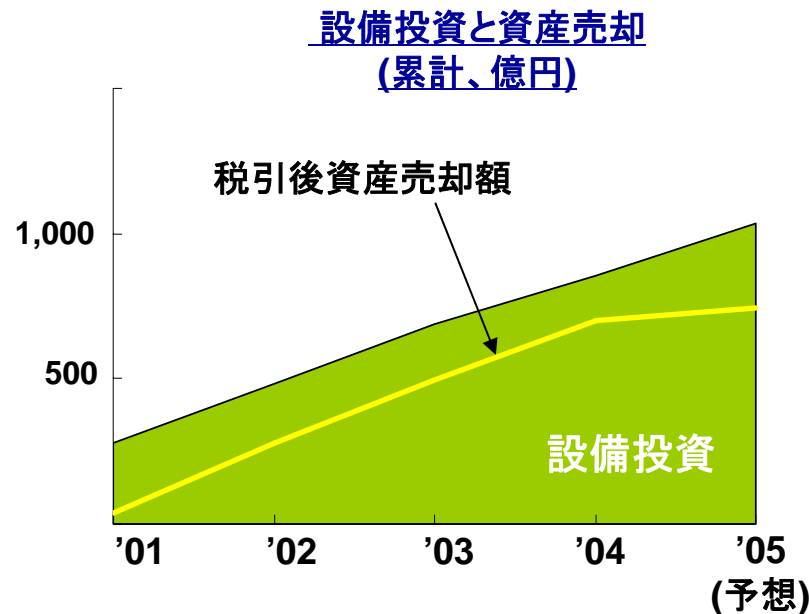
設備投資と株主還元

■ 基本原則

- » 成長分野に選別投資する
- » 事業に当面不必要な資金は株主に還元されるべきである

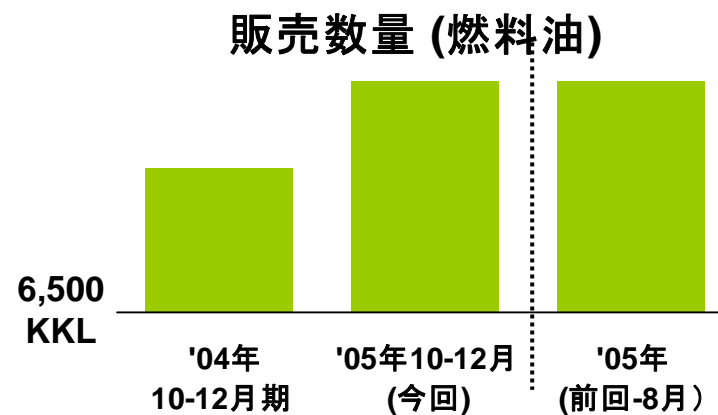
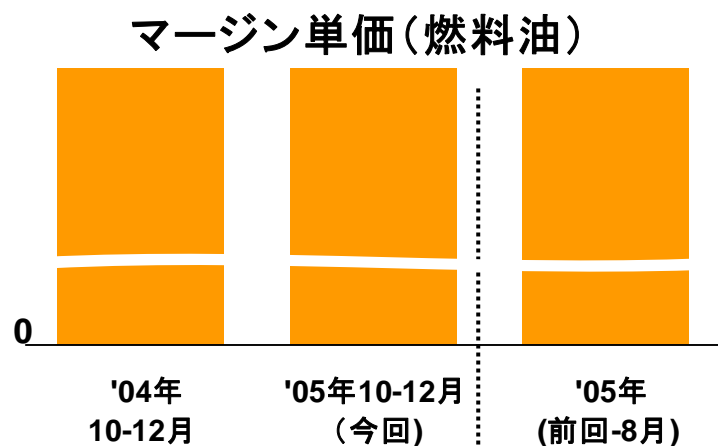
■ 本年100億円の自己株式を取得

- » 一株当たり利益、一株当たり配当の増加
- » 経営環境を慎重に見極め、株主還元のベストミックスと時期を冷静に分析



2005年10-12月期 業績予想前提条件の修正

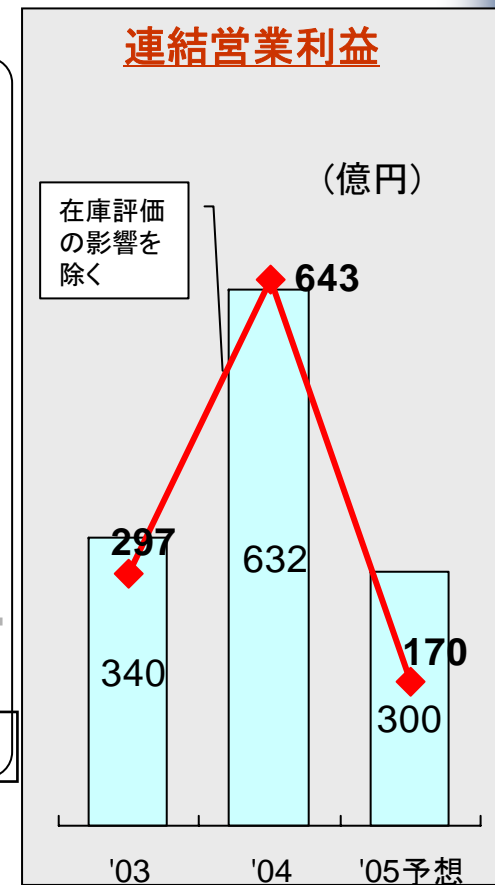
- 燃料油マージン 前回予想から変更なし
- 燃料油販売数量 前回予想から変更なし
- 石化製品マージン 前回予想より低い
- 石化製品販売数量 前回予想から変更なし
- 経費 前回予想から変更なし
- 在庫評価の影響 通年で130億円の後入先出法(LIFO)による利益を予想
- 原油価格・為替レート 56.5ドル/バレル(ドバイ)、113.2円/ドル -- 2005年9月末の値
[売上高の計算のみに使用]
- 在庫評価方法 後入先出法(LIFO)/低価法を継続



業績予想の修正 [連結]

- 2005年通期の調整後営業利益は 2004年と比べて473 億円減少
- 2004年末よりも在庫が取り崩される前提で、2005年通期で130億円の後入先出法による在庫評価益を見込む

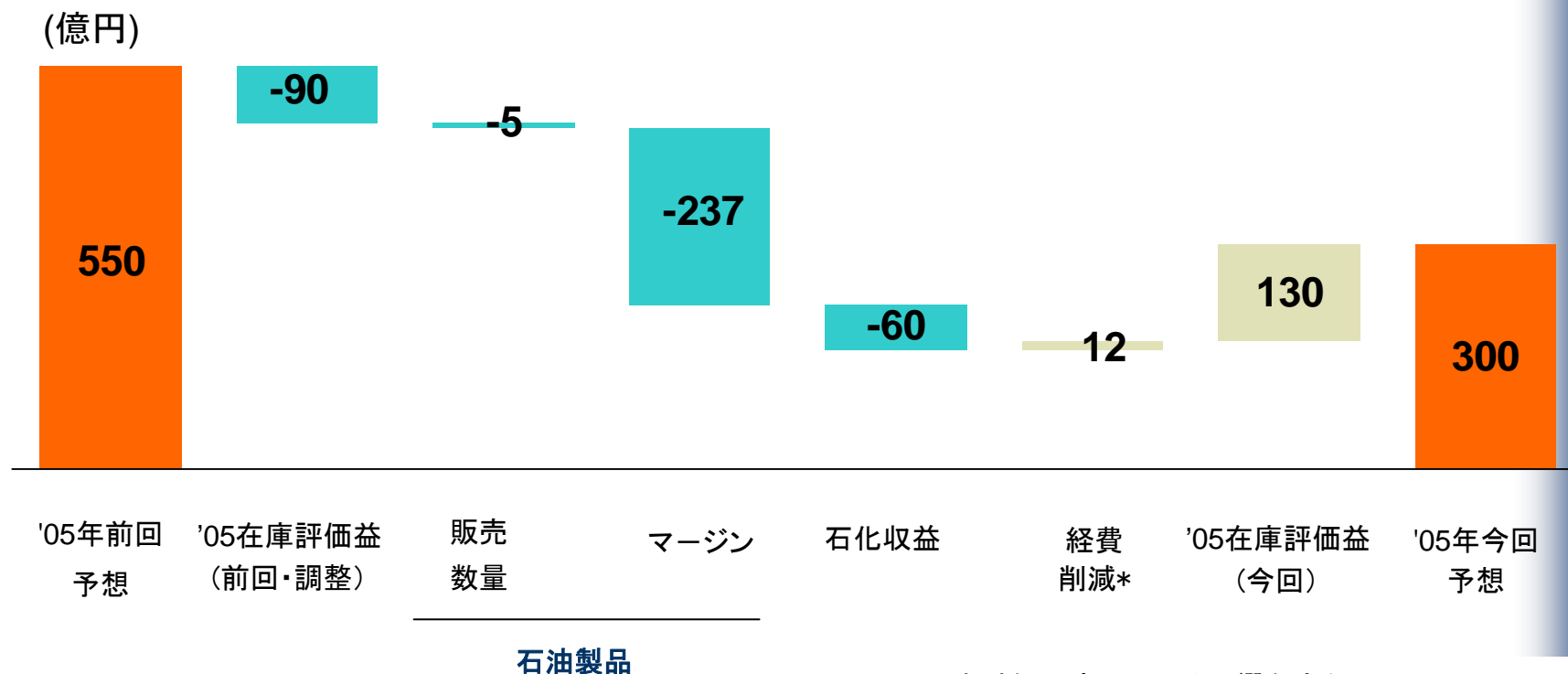
(億円)	'04	'05予想	1-9月	10-12月 予想.
売上高	23,423	28,770	20,747	8,023
営業利益	632	300	43	257
経常利益	686	330	71	259
特別損益	137	-13	11	-24
当期純利益	482	200	59	141
在庫評価の影響	+11	-130	-64	-66
調整後営業利益	643	170	-21	191
石油部門 他	219	-320	-389	69
石油化学部門	424	490	367	123



営業利益の要因分析

['05年修正予想 vs. '05年前回予想; 連結]

- 2005年通期の営業利益は 8月に公表した前回予想と比べて250億円減少
- 石油製品マージンの減少、石化収益の減少、経費の削減、後入先出法による在庫評価益を見込む



* 会計処理変更による影響を除く